

ハンバーガーから米国理解を考える

愛知教育大学附属名古屋中学校
今井智樹

1 はじめに

自分が「アメリカ」といって思い浮かべるものは、「ハンバーガー」である。そして、今まで自分がもっていたハンバーガーのイメージは、「アメリカのハンバーガーは日本に比べるとかなり大きい」である。そして、自分の中で、「アメリカのハンバーガーは、本当に大きいのか」という疑問がわいてきて、この研修を機会に確かめたくなった。また、「アメリカでは、日本と同じようにハンバーガーを値下げしているのだろうか」など、他にも確かめてみたいことがいくつか出てきた。



アメリカに行き、街を歩いてまず驚いたことは、ハンバーガーショップの多さである。ちょっと歩けば、ハンバーガーショップに出くわすといった具合であった。そして、いくつかの疑問を実際に確かめるため、ハンバーガーを注文して、出てくるのを待った。ハンバーガーが出てきて自分の予想が見事に裏切られた。日本とかわらないのである。しかし、セットのフライドポテトとドリンクの多さには驚いた。また、値段も予想していたより高いもので、値下げしたものはなかった。その後もいろいろな店に行き、何回もハンバーガーを食べた。そして、ハンバーガーを食べながら、米国理解をする上で最も有効な題材ではないかと感じた。このハンバーガーを通して、2年生地理的分野「アメリカ合衆国」の単元構想を考えた。

2 単元構想

(1) 単元目標

- ・身近に存在する多国籍企業や情報からアメリカ合衆国経済が他国に与える影響を考えるとともに、密接な関係にある我が国の将来についても考えることができる。
- ・アメリカ合衆国は世界に大きな影響を与える地位にあることをとらえることができる。
- ・アメリカ合衆国が世界の中心的な存在であり得るのは、広大な国土・資源を活用した産業と技術力の高さにあることをとらえることができる。
- ・アメリカ合衆国の特色を大量生産のしくみからとらえることができる。